

必ず読んでください

ロタウイルス予防接種についての説明書

1. 病気について

ロタウイルスは口から侵入し、腸管に感染して発症します。感染力が非常に強く、手洗いや消毒などをしっかりしても、感染予防が難しいため、ほとんどの子どもが感染します。下痢や嘔吐は1週間程度で治りますが、脱水症状を起こす場合もあり、乳幼児の急性胃腸炎の入院の中で、もっとも多い感染症です。初めて感染した時は、特に重症化しやすく、まれに脳や腎臓に影響をおよぼすこともあります。生後すぐに感染する場合もあるので、ワクチン接種は、早めに済ませましょう。

2. ワクチンについて

ロタウイルスのワクチンは口から飲むワクチンです。ワクチンは2種類あり、同様の効果があります。大田市では、2回接種するロタリックスを使用します。他市町村からの転入等でロタテックを接種している方は、残りの回数もロタテックで接種することが可能ですので、医療機関にお伝えください。

副反応は、嘔吐・下痢等の胃腸炎症状が5%以下のお子さんにみられますが、いずれも軽症であり、治療の必要はありません。注意が必要なのは、数万接種に1例程度発生する腸重積症です。これは腸と腸がはさまりあう病気で、接種後7日以内に、機嫌が悪い、激しく泣く、嘔吐、おなかが膨れる、便に血が混じる症状があれば、すぐに医療機関を受診しましょう。

3. 接種回数と間隔

ワクチン名	ロタリックス(大田市では主にこちらを使用)	ロタテック
接種時期	出生6週から24週	出生6週から32週
	※どちらのワクチンも、初回接種を生後8週から14週6日の間に行うことを推奨します	
接種回数	2回接種(27日以上の間隔をあける)	3回接種(27日以上の間隔をあける)

4. 以下のことに注意してください

- ① 予防接種の必要性や副反応についてよく理解しましょう。分からないことは接種を受ける前に質問しましょう。
- ② 接種に連れていく予定にしているも、体調が悪く思ったら、やめましょう。
- ③ 子どもの日頃の状態を知っている保護者の方が連れていきましょう。また、卵などの食品や、薬などにアレルギーがないか日頃からよく注意をして見ておきましょう。
- ④ 予診票はお医者さんへの大切な情報です。責任を持って記入するようにしましょう。
- ⑤ 母子健康手帳は必ず持っていきましょう。母子健康手帳がないと接種できません。
- ⑥ 接種後は、30分間は接種場所で子どもさんの全身状態を観察しましょう。

5. ワクチンについて予防接種による健康被害救済制度について

定期接種によって引き起こされた副反応により、生活に支障が出るような障がいを残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができます。

給付申請の必要が生じた場合には、大田市健康増進課へご連絡ください。